

日本語指導第 1 学年国語科学習指導案

〇〇市立〇〇小学校

1 単元名 ことばって おもしろいな 「ものの 名まえ」(光村図書 国語科1年下 所収)

2 対象児童 * 3人とも在籍学級の国語科の時間に、ワールドルームで学習している。

A 児	学年等	1年 日本国籍 来日3ヶ月
	経 験	家庭では、父とは英語で、母とは日本語で会話している。日本の文化や生活習慣についても理解しており、日本語の語彙数も豊富である。しかし、日本の学校の学習や生活のスタイルに慣れておらず、担任の指示が理解できずに涙ぐんだりする。ワールドルームで個別に指導すると内容を理解し、安心して取り組むことができる。
	日本語力	学校では、日本人の児童とは日本語で会話し、英語しか通じない児童とは英語で会話するというように言葉を使い分けている。ひらがな、カタカナを確実に覚え、漢字の定着率もよい。
B 児	学年等	1年 フィリピン国籍 来日8ヶ月
	経 験	父は少し日本語が分かるが、母はほとんど理解できない。家庭ではタガログ語と英語で会話している。他にもフィリピン人児童が在籍しているため、精神的に安定している。
	日本語力	あいさつとかんたんな会話ができる。性格が明るく活動的なので、クラスで好感をもたれており、学校生活には問題が見られない。しかし、語彙が少なく、文字の定着もなかなか進まないのので、学習には集中しきれていない。
C 児	学年等	1年 フィリピン国籍 来日6ヶ月
	経 験	両親はほとんど日本語が理解できない。家庭ではタガログ語と英語で会話している。兄がおり、その影響も受けて意欲的に日本語の学習に取り組んでいる。
	日本語力	学校では、あいさつと簡単な会話ができるが、語彙数が少なく、なかなか日本語で思いを伝えることができない。ひらがな、カタカナを意欲的に学び、確実に身に付けている。漢字学習にも意欲的で、既習の漢字はほぼ身に付けている。

3 指導にあたって

在籍学級の時間割の関係でB児とC児はワールドルームで常に共に学習しているが、A児が他の2人と共に学習するのは、週に1～2時間である。そのため、3人で学習していても、A児はマイペースで学習し、他の2人とあまりかかわりをもとうとはしない。C児はB児と同じ国籍で同じクラスに在籍し、しかも本校への就学がB児より遅かったことから、B児に追いつこうと熱心に学習し、力をどんどん伸ばしてきた。近頃では学習の場面でC児がB児をリードする場面がよく見られ、B児もそれに刺激を受けてよきライバル関係ができつつあるようだ。

国語科の学習においては、A児は内容の理解が速く、物語教材では登場人物の気持ちを想像して、それを日本語で表現することもできていた。また、「ことばで あそぼう」の単元では、しりとり遊びの語彙探しが自分ででき、どんどん言葉をつなぐことができた。C児は、教材文の内容を理解しようと意欲的に学習し、分からないところは英語も交えてどんどん質問してくる。しりとり遊びでは、語彙の不足を「こどもことば絵じてん」で補い、自分で言葉を調べてしりとりをすることができた。また、A児の日本語力に刺激を受け、A児から学ぼうとする意欲的な態度が見られる。B児は自分の興味のないことにはあまり意欲をみせなかったが、A児やC児に刺激を受け、何とか追いつこうとする態度を見せるようになった。

本単元は、一つ一つのものにつけられた名まえ（下位語）とそれらのグループにまとめてつけられた名まえ（上位語）の概念を理解し、「おみせやさんごっこ」という体験活動をしなが、その理解を深めていくという展開が予定されている。こういった学習展開は日本語理解が十分ではない子どもたちでも楽しく学習に取り組めるものなので、在籍学級の子どもたちと共に学習するのに適した単元構成であるといえる。そこで、今回は、在籍学級に先行する学習としてこれを位置づけ、ワールドルームでの学習経験をもとにして、自信をもって在籍学級の授業に参加できるようにしたいと考えている。また、体験活動を通して、3人の子どもたちが互いにかかわりを深め、協力して学習するという関係を築いていけるよう願っている。

4 単元目標

(1) 日本語

- 「りんご」は、ものについた名まえです。」という言い方や、「くだもの」は、ものをまとめた名まえです。」という言い方ができる。
- 「くだものを ください。」という問いかけに、「くだものでは、わかりません。もの名まえをいって ください。」という聞き返しができる。
- ものの名前を知り、語彙を増やす。
- 仲間とかかわりあい、助け合って、楽しく学習することができる。

(2) 国語科

- ものの名前の関係（上位語・下位語）に興味をもつ。
- 客や店の人の役に分かれてやり取りして、「おみせやさんごっこ」を楽しみながら、上位語・下位語についての理解を深める。

5 指導計画（全体 7時間）

- 「おみせやさんごっこ」をすることを知らせる。実際に近くのスーパーを見学し、売り場の様子を観察して、気の付いたことを文と絵にまとめる。（1時間）
- 「くだもの」「やさしい」「さかな」などから品物を選び、絵カードに描いて名前を覚える。（2時間）
- 店の人と客のやり取りの仕方を知り、練習する。（1時間）
- 「おみせやさんごっこ」をして、上位語・下位語について理解を深め、店の人と客とのやり取りを経験する。（1時間ー本時）
- 教材文をよんで、だいたいの内容を理解する。（2時間）

6 評価基準

(1) 日本語

- 店での問いかけや応対をするときの表現を知り、それを身に付ける。
- 上位語・下位語の関係を理解し、それを言葉で説明することができる。

(2) 国語科

- 「もの名まえ」を読み、内容の大体が分かる。（読み）
- 客と店の人になって売り買いのやり取りをする。（話・聞ウ）

7 本時の目標

(1) 日本語

- 「りんご」は、ものの 名まえです。「くだもの」は、まとめて つけた 名まえです。」と上位語・下位語の説明ができる。
- 「こんにちは」「いらっしゃい。」「～をください。」「ありがとうございます。」などの買い物をするときの表現を身に付ける。
- 「くだもの」では、わかりません。ものの 名まえを いって ください。」という、聞き返しができる。
- 互いに助け合い、日本語を使って楽しく活動する。

(2) 国語科

- ものの名前の関係（上位語・下位語）を理解する。
- 客と店の人になって、売り買いのやり取りをする。

8 展 開

学 習 活 動	支 援	評価 (○) とAU
<p>1 助数詞の唱え方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「～つ」、「～本」、「～匹」のカードから選んで唱える。 <p>2 絵カードに描いた品物を、それぞれのグループに分ける。</p> <p style="text-align: center;"> くだもの やさい さかな </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のお店を決め、品物を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の苦手なカードを選ぶよう助言する。 ・ 「くだもの」など、上位語の意味が分からなければ、尋ねてもよいことを知らせる。ただし、品物で教えるのではなく、ジェスチャーで教えるようにする。 ・ 自分の店で売るものを紹介するようにする。最初は、教師が見本を示す。 ・ 「お助けカード」を見てもよいことを知らせる。 ・ 「お助けカード」を見ながら、復習するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しく唱えることができているか。 [国語科AU] <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句に関して類別ができる。 ○ 上位語・下位語の意味を説明できているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「これは、りんごです。りんごは、ものの名まえです。」 ・ 「くだものは、まとめてつけた名まえです。」

<p>3 「おみせやさんごっこ」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 店の人と客のやり取りを復習する。 ・ 役割を決めて、「おみせやさんごっこ」をする。 ・ 役割を交替して、「おみせやさんごっこ」をする。 <p>4 本時の学習をワークシートにまとめて、復習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初は、教師が店の人になって、聞き返しの見本を示す。 ・ 店の人は、一人、客は二人と役割を分担する。 ・ 「お助けカード」を見てもよいことを知らせる。 ・ 「お助けカード」を見てもよいことを知らせる。 	<p>[国語科AU]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より具体的な相手意識を持ち、伝えたいことを相手に伝えるように話す。 ・ 相手の伝えたいことを、落とさないように聞く。 ・ ふつうの言葉、ていねいな言葉の使い分けができる。 <p>○ 買い物をするときのやり取りができているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「こんにちは。」「いらっしやい。」「これをください。」「ありがとうございます。」 <p>○ 聞き返しができているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「くだものをください。」 ・ 「くだものでは、わかりません。ものの名まえをいってください。」 <p>○ 助け合って、活動することができているか。</p> <p>○ 楽しく活動することができているか。</p> <p>○ 本時の学習内容が、だいたい理解できているか。</p>
---	---	---